

第1回 協働のまちづくり市民会議 プラスワン

日 時：令和元年 10月27日（日）

午後2時から4時

場 所：加古川市総合福祉会館 302号室

1. 活動の目的、参加にあたってのお願い

次のとおり、事業の目的と参加にあたってのお願いを事務局からお伝えしました。

事業の目的

- ・市民会議当日は時間もあまりなく、市の意図していた「参加者のみなさん自身のまちづくり活動への参加」にまで、議論を深めていただくことができませんでした。
- ・みなさんに提案してもらいたかったのは、皆さん自身が参加する、新しい枠組みの提案や今ある枠組みを有効活用する提案でした。
例えば、加古川市では対象となるボランティア活動や健康づくりの活動に参加された方にポイントを付与する「ウェルビーポイント制度」というものを実施しています。
この制度は、活動に参加するきっかけ作りと、その後も継続して取り組んでいただくための楽しみを目指しています。
- ・今日は少人数にはなるが、「参加者のみなさん自身のまちづくり活動への参加」という点について、議論を深めていただきたいと考えています。

参加する上でのお願い

- ・これまでしてきた活動、バックグラウンド等々、バラバラなメンバーが集まっているので、お互いの意見を尊重してください。
- ・みなさん自身が「まちづくり活動をするなら」という観点で、自分ごとに置き換えて考えてください。

2. 自己紹介

まずはお互いのことを知るために「①氏名 ②好きな食べ物、好きなコト ③参加理由、動機 ④加古川の印象 ⑤今日呼んで欲しい呼び方」を書いていただき、それぞれ自己紹介をしてもらいました。

自己紹介には事務局も参加しました！

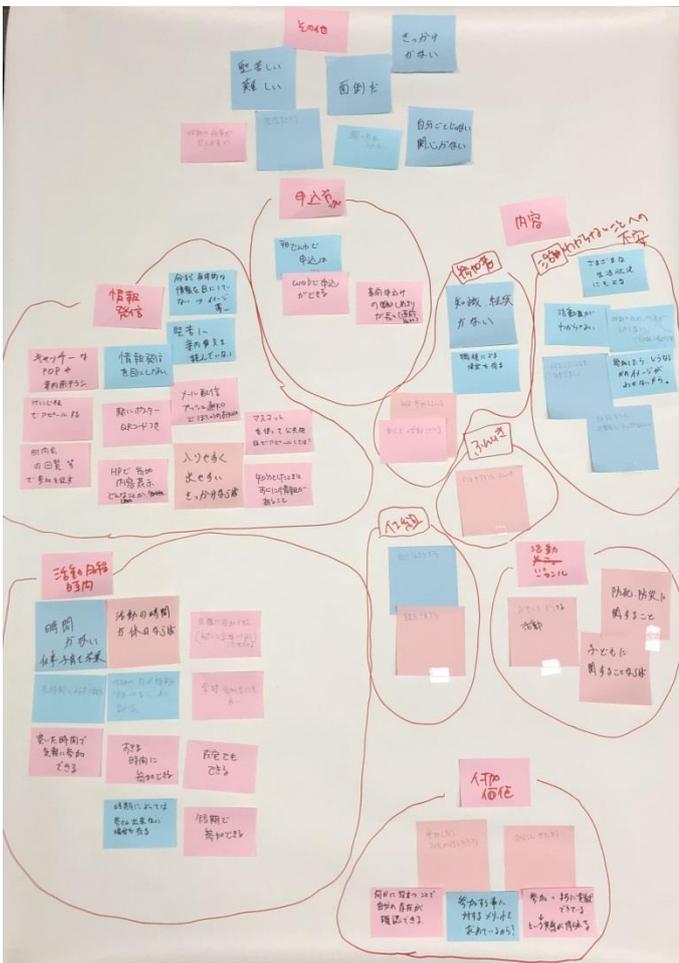
意外な共通点があったり、皆さん加古川の印象が似ていたり、自己紹介を聞きながら共感されていた部分もあったようです。

3. あなたがまちづくり活動に参加するには？

その後、本題である「参加者のみなさん自身がまちづくり活動に参加する」ために、その参加を促進する要因と阻害する要因をそれぞれ付箋に書き出してもらいました。



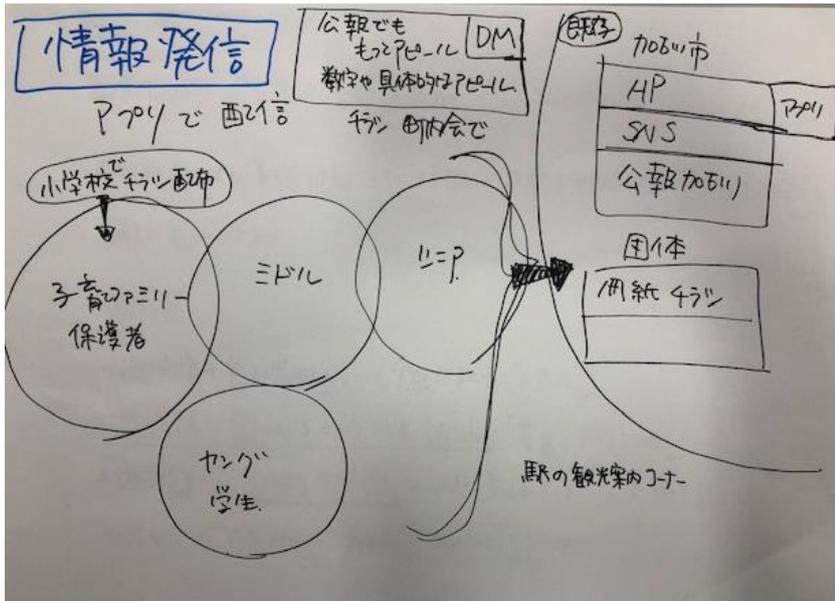
まずは個人でどんどん思いついたことを書いてもらい、それを模造紙に貼り、グループ分けをした後、それぞれの要因に対してどのような支援が必要かを話し合ってもらいました。



要因を「活動日程、時間、内容」や「情報発信」「申込方法」などのグループに分けた図です。

「情報発信」「活動日程、時間」を重視されている方が多いことがわかります。





そこで、具体的にどのように「情報発信」すれば、まちづくり活動に参加しやすくなるのか(参加する人が増えるのか)を考えてもらいました。

インターネットをよく使う世代はSNSやアプリ等を使用した発信、子育て世代は学校でチラシを配布するなど、発信したい対象によって発信方法を変える必要があるという意見がありました。

子供の頃からボランティア活動に参加
 ボランティアのときの事故対応 リスク対応 内容がわかるように
 気軽に参加できる
 説明会
 HPに内容+参加者のレビュー(実感がわかるもの)
 こういうことに困っているときを一言で「募集」だけじゃなく
 『協働』 具体的な内容 みんなに参加してほしいことを発信
 制度上の お店にチラシおく 公報 スーパーにチラシおく 公報

事前に事故の際などのリスク対応や参加者のレビューといった具体的な記載があれば、不安が取り除かれ、気軽に参加しやすいという発信内容についての意見もありました。

何かを募集する際には、どういったことで困っているから協力が必要である、ということを訴える方が、協力しようという気持ちになるという意見もありました。

今回は6人の方が集まってくださり、みなさんの考えをお伺いするとともに、市が実施している事業についても知っていただくことができました。

ご参加いただいたみなさん、貴重なお時間をいただき本当にありがとうございました。

こうしてまちづくりについて積極的に考えてくださる方が増えていくことが、多くの方がまちづくりに参加してくれることに繋がっていくと思います。

今後もテーマや手法を変えながらこういった機会を設けていきたいと思っております。

ぜひみなさんもお参加ください。

【お問合せ先】

加古川市 協働推進課 市民協働係
 (担当：松井)

電話：079-427-9764

メール：n_matsui@city.kakogawa.lg.jp